

科目名	パーソナルカラーA						
科目名(英)	Personal Color						
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	吉田 浩子
実施年度	2020年度		実施時期	前期		担当者実務経験	パーソナルカラリスト協会
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科・2年						
授業概要	衣食住の様々なシーンでの色の重要性を知り、ビジネスの場でパーソナルカラーを活かしながら、モノだけではなくコミュニケーションツールとして活用する。色の知識を深め、センスを磨き応用力を身につけパーソナルカラリスト検定習得を目指す。						
授業形式	講義 ○		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					パーソナルカラリストの特徴を理解し、人に合う色やファッション、ヘア・メイクを提案出来る。	
		○				色の見える仕組みや歴史を理解し、色を分類する力を養う。	
		○				配色効果を学び、色の選択が出来る。	
		○				ブライダルと色の関連性を学び、トータルの色の応用力を身につける。	
				○		人の特徴に合わせた色のプレゼンテーションが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定公式テキスト・カラーカード・パーソナルカラリスト問題集3・2級 COLOR Arrangment						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	色彩と文化1～日本の色の歴史や生活の中での色を知る				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと	
	2	色彩と文化2～色の種類やその特徴				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	5	色彩理論～色のしくみ、				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	7	色彩理論～CUS表色系				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	9	色彩理論～色の三属性と対比現象				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	10	～12. 色彩理論～CUS配色効果				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	13	14. 色彩とファッション				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	15	～17. パーソナルカラー診断				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	18	～20パーソナルカラー3級検定まとめ				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	21	22. 色彩と文化～染料				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	23	色彩と文化～ヨーロッパの色の歴史				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	24	色彩理論～混色				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	25	26. 色彩理論～照明と色				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	27	28. 色彩理論～色の知覚効果				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
	29	30. 基本的な配色テクニック				テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと プリント課題	
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)プリント、課題を実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	宿題・レポート	◎			○		5%
	発表・作品	◎			○		5%
	小テスト	◎	○				30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダル接遇演習Ⅱ							
科目名(英)								
単位数	2		時間数	30時間		担当者	島崎 満美子	
実施年度	2020年度		実施時期	前期		担当者実務経験	ウエディングプランナー歴18年 ドレスコーディネーター歴3年	
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年							
授業概要	ブライダルのより実践的な接遇(お客様案内や打合せ)及び業務に必要な知識、話術、顧客対応を学び、お客様の対応がスムーズにできるようになる。また国家資格(ブライダルコーディネート技能検定)の視聴覚問題にも対応できるようにする。							
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	△	○				新規セールスの接客の流れを把握し、お客様の案内ができるようになる		
	△	○				お客様のご希望を的確に捉えお客様に合った提案ができるようになる		
	△	○				結婚式の日程をお客様のご希望に合わせ提案ができるようになる		
	△					挙式・披露宴での慣例に基づき正しい提案ができるようになる		
		○				シチュエーション毎に正しい接遇ができるようになる		
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	ブライダルの接客について(新規・打合せ・衣裳)国家資格の視聴覚問題について						
	2	新規セールスについて①(導入・ヒアリング・日程の決め方)						
	3	新規セールスについて②(導入・ヒアリング・日取りの決め方)						
	4	新規セールスについて③会場案内(挙式場・バンケット)						
	5	新規セールスについて 実践						
	6	新規セールスについて(クロージング)見積もり作成						
	7	プランナー業務①(ペーパーアイテムについて)						
	8	プランナー業務②(演出物・ビデオ・引出物・引菓子・ヘアメイク・写真)						
	9	プランナー業務③(式場スタッフの役割と当日の動き)						
	10	ドレススタイリスト①(衣裳提案)洋装						
	11	ドレススタイリスト②(衣裳提案)和装(列席者衣裳含む)						
	12	当日業務①						
	13	当日業務②						
	14	実技試験・まとめ①						
	15	実技試験・まとめ②						
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験			○	◎	○		50%
	復習実技テスト			○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。							

科目名	和装着付け演習						
科目名(英)							
単位数	2		時間数	30時間	担当者	梶原 加津代	
実施年度	2020年度		実施時期	前期	担当者実務経験	着付け業務歴7年	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年						
授業概要	日本の伝統文化「和装」に興味を持ち、振袖の着付け方法を学び、相手に着付けが出来るようになる。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	△	○				着付けに必要な物品を準備することができる	
			△	○		着物の名称を知り、チームで協力して着付けができる	
		○				モデルに身体的苦痛を与えていないか への配慮ができる	
			○			限られた時間の中で チームで協力して振袖の着付けができる	
			○			浴衣の着付け、帯結びが 自分で行える	
テキスト・教材 参考図書	振袖の名称(百日草) hyakunichiso.com						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	振り袖着付けの基礎(名称)・足袋の履き方～補正				足袋の履き方、補正タオルの折り方を復習しておく	
	2	名称筆記試験/肌着～補正～長襦袢の着付け				名称を復習しておく	
	3	長襦袢～着物まで着付ける				着物の着丈、腰紐の結ぶ位置の復習しておく	
	4	チームで長襦袢まで完全に着付けが出来るようになる				着付けの手順を チームで協力して覚えていく	
	5	着物～帯まで 着付ける				帯の折り方 を復習しておく	
	6	チームで着物まで完全に着付けが出来るようになる				チームで協力して復習しておく	
	7	帯結び(お太鼓結び)の練習				お太鼓結びの復習をしておく	
	8	着付けお太鼓結びまで実技試験①				3人がお太鼓結びが出来るように復習しておく	
	9	帯結び(文庫結び)の練習				文庫結びの復習をしておく	
	10	チームで文庫結びが完全に出来るようになる				3人が文庫結びが出来るように復習しておく	
	11	実技試験の向けて 各チーム練習				タイムオーバーの原因を見つけ出しておく	
	12	実技試験の向けて 各チーム練習				アドバイスの箇所を復習しておく	
	13	文庫結び実技試験 ②				アドバイスの箇所を復習しておく	
	14	実技試験 ③				アドバイスの箇所を復習しておく	
	15	浴衣の着付け 綺麗な襟足とは				浴衣を自分で着付けの復習しておく	
評価方法	(1)授業内実技試験を3回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(実技)			◎			80%
	定期試験(筆記)	○					20%
履修上の注意	公欠の学生には、各チームで協力をして前回の着付け方を伝えろ。全員で振袖の着付けが出来るようになる						

科目名	イベントプランニング						
科目名(英)	Event planning						
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	中村
実施年度	2020年度		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	ブライダル業界において必要となってくる募集・企画・運営・経理についてを学び、実践する。ブライダル実習室を使用したファッションショーという括りの中で、テーマの設定から当日の運営までをクラスメイトと協力して行う。ブライダル・ウエディング科の集大成である模擬結婚式に向けての前段階としての位置付けとする。						
授業形式	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		ファッションショー本番までの流れを理解し、主体性を持って準備に取り掛かることができる。	
		○				オリジナリティに溢れたファッションショーのテーマを設定できる。	
		○				これまでの授業内容を取り入れたファッションショーの企画を設定できる。	
		○				計画的な備品購入を行い、正確な経費精算の報告を行うことができる。	
				○		ファッションショー本番にてクラスメイトと協力し、運営に携わることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、グループ分け、スケジュール、テーマ決め				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	2	進行内容決め				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	3	担当役割決め、本番に向けての準備				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	4	本番に向けての準備 ※ここからはグループに分かれての授業				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	5	本番に向けての準備				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	6	本番に向けての準備、リハーサル				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	7	最終リハーサル				進捗状況をグループ内で共有しておくこと	
	8	オープンキャンパス当日にてファッションショーの運営				準備・身だしなみを整えた上で運営すること	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)出席状況や授業中の態度・意欲を成績評価とする。(2)当日の募集人数も成績評価に含まれる。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・授業態度		○		◎		90%
	オープンキャンパス参加人数					◎	10%
履修上の注意	授業外でもグループ内で打ち合わせや備品購入を行い、当日の運営に向けて準備を進めること。						

科目名	ブライダルコーディネート演習						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	東・中村
実施年度	2020		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	東:専門式場フラワーコーディネーターとして勤務 中村:専門式場ウェディングプランナーと
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、披露宴及び挙式における演出・企画力を身に付ける。模擬結婚式の全体テーマやコンセプトを過去の模擬結婚式を振り返りながら企画していく。レストランウェディングの見学及びコース料理試食をして知識・見識を広げる。						
授業形式	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標	
	△	○				模擬結婚式の流れ・準備物・役割を知る。	
	△	○				ブライダルにおける演出を知り説明する事ができる。	
	△	○				レストランにおける結婚式の施設・設備を学び特徴を説明できる。	
	△	○				和の婚礼演出を知り説明する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	模擬婚DVD(2018～2008)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	模擬結婚式の概要説明					
	2	過去の模擬婚の演出を知る①					
	3	過去の模擬婚の役割を知る②					
	4	模擬結婚式の全体テーマ検討					
	5	和の婚礼演出について					
	6	和の婚礼演出について現場確認					
	7	和の婚礼演出についてレポート作成					
	8	結婚式場での音楽・映像・演出について①					
	9	結婚式場での音楽・映像・演出について②					
	10	洋食のテーブルマナーについて					
	11	レストランウェディングセミナー①					
	12	レストランウェディングセミナー②					
	13	模擬結婚式場見学①					
	14	模擬結婚式場見学②					
	15	全体での模擬結婚式内容考察					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業態度及び出席率以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	◎				40%
	レポート提出	◎					60%
履修上の注意							

科目名	ブライダルビューティ演習										
科目名(英)											
単位数	2単位			時間数	30時間			担当者	東まゆみ・中村直輝		
実施年度	2020			実施時期	前期			担当者実務経験	東:専門式場フラワーコーディネーターとして勤務 中村:専門式場ウエディングプランナーと		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年										
授業概要	2年後期に開催される模擬結婚式に向けて、披露宴及び挙式における美容・着付けを身に付ける。結婚式における運営スタッフの役割や基本的な動きを知る。										
授業形式	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	△	○				結婚式における運営スタッフ(キャプテン、介添え)を知り適切な説明ができる。					
	△	○				結婚式におけるメイク・ヘアアレンジを知り適切な提案ができる。					
	△	○				結婚式におけるネイルを知り適切な提案ができる。					
		○				新婦の適切な歩き方を知り説明できる。					
	△	○				結婚式におけるペーパーアイテムの種類や特徴を知り説明できる。					
テキスト・教材 参考図書	模擬婚DVD(2018～2008)										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	結婚式のキャプテンについて①									
	2	結婚式のキャプテンについて②									
	3	結婚式の介添えについて①									
	4	結婚式における新婦のウォーキング①									
	5	結婚式における新婦のウォーキング②									
	6	ブライダルメイク①									
	7	ブライダルメイク②									
	8	ブライダルヘアアレンジ①									
	9	ブライダルヘアアレンジ②									
	10	ブライダルネイル①									
	11	ブライダルネイル②									
	12	ペーパーアイテムについて									
	13	クイックチェンジ(着付け)について									
	14	クイックチェンジ(着付け)について									
	15	全体アンケート(コース選択について)									
評価方法	(1)小テスト3回実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	小テスト3回	◎		○							100%
履修上の注意											

科目名		テーブルコーディネート演習												
科目名(英)														
単位数		2単位		時間数		30時間		担当者		東 まゆみ				
実施年度		2020		実施時期		前期		担当者実務経験		専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務				
対象学科・学年		ブライダル・ウエディング科・2年												
授業概要		披露宴会場用のテーブルコーディネートを学び、イメージに合わせた装花がアレンジできるようになる。 アフタヌーンティーのテーブルコーディネートができるようになる												
授業形式		講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△				
学習目標 (到達目標)		言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標							
		○					テーブルコーディネートの組み立て、企画、構成ができるようになる							
			○				上記を学び、実際にイメージに合った花、クロスを選ぶことができる							
				○			披露宴会場のイメージに合ったテーブルコーディネートができるようになる							
				○			アフタヌーンティーに合わせたテーブルコーディネートができるようになる							
テキスト・教材 参考図書		ブライダル装美と演出・生花・アーティフィシャルフラワー・クロス、花器												
授業計画		回数	授業項目・内容						授業外学修指示					
		1	テーブルコーディネートとは(組み立てについて)											
		2	テーブルコーディネートとは(テーブル構成)											
		3	イメージスケールについて(イメージスケール作成①)											
		4	イメージスケールについて(イメージスケール作成②)						次回までにイメージスケール完成させる					
		5	アーティフィシャルフラワーを使って色によるイメージ作り											
		6	イメージに合わせたテーブルコーディネート①											
		7	イメージに合わせたテーブルコーディネート②											
		8	イメージに合わせたテーブルコーディネート③											
		9	イメージに合わせたテーブルコーディネート④											
		10	会場装花について											
		11	アフタヌーンティーについて											
		12	紅茶について											
		13	紅茶の淹れ方、特徴について											
		14	アフタヌーンティー						アフタヌーンティーに必要な物準備					
15	試験対策						ノートプリント整理しておく							
評価方法		(1)単元ごとに小テストを6回実施する。(2)イメージスケール作品提出 (3)①～④作品制作発表評価												
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合	
		単元テスト6回	◎										60%	
		発表・作品提出					◎		○				40%	
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない												

科目名	司会演習						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15		担当者	中尾香織
実施年度	2020年度		実施時期	前期		担当者実務経験	結婚式場の司会歴22年
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年						
授業概要	司会者とは、単なる進行役ではなく、演出の企画から実施までを求められる存在です。その為には、言葉遣い・立ち居振る舞い・タイミング他様々な知識が求められます。この授業では、基本的な進行の技術習得と同時に、新郎新婦の描く理想を、実現可能な演出として企画、実施するための演習を行います。人前式から披露宴までの進行原稿を作成出来るようになることを目指します。						
授業形式	講義    △		演習：    ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○    その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人前式、披露宴の基本的な進行を理解し、各シーンにかかる時間を把握することが出来る。	
		○				スタッフやゲストの動きを把握し、適切なタイミングでアナウンスを入れることが出来る。	
				○		会場、演出の雰囲気に合わせて、声のトーンを変えてアナウンスが出来る。	
		○				自由な発想で、演出の企画・進行原稿の作成から実施までが出来る。	
		○				人前式から披露宴まで、全ての進行原稿を作成し、実施することが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	人前式・披露宴の基本的な進行				特に無し	
	2	自由に演出を企画する。ディスカッションを含む。				担当したいシーンを予め考えてくること(各3～4名ずつ)	
	3	人前式の演習(3名)				原稿の作成	
	4	披露宴の演習 開宴～乾杯まで (3名)				原稿の作成	
	5	披露宴の演習 ケーキ入刀～新婦・新郎中座まで (3名)				原稿の作成	
	6	披露宴の演習 再入場～テーブルラウンドなど (3名)				原稿の作成	
	7	披露宴の演習 手紙～退場・お開きまで (3名)				原稿の作成	
	8	オリジナルの演出に特化した演習 (4名)				原稿の作成	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)毎回の授業で各6名ずつ実施する発表(2)全授業を通して、各自の人前式・披露宴の司会原稿を作成、最後に提出を求める。原稿には、注意点、タイミングなども記入すること (3)原稿には、2つ以上のオリジナル演出を盛り込むこと 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	演習・発表	○			○		20%
	オリジナル演出の企画	○			◎		20%
	司会原稿作成(提出)	○	◎		○		60%
履修上の注意	就職活動などで、発表する日の授業を欠席する場合、前後の日程で振替えを行います。						



科目名	マナー プロトコール						
科目名(英)	Manner & Protocol						
単位数	2		時間数	30時間		担当者	玉置 万理子
実施年度	2020年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	航空会社客室乗務員
対象学科・学年	ブライダル ウェディング科 2年						
授業概要	国際化の著しい現代社会において異文化に対する理解は不可欠なものであるが、その前提として日本人、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識や技能を、できるだけ正しく学び、理解する。						
授業形式	講義: ○		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					日本の礼儀作法と西洋のマナー・エチケットの成り立ち・アジアのマナーを説明できる。	
	○					国際人としてのプロトコールの原則、社交の場でのコミュニケーション方法を説明できる。	
	○					電話応対のポイント、敬語、ビジネスシーンでのコミュニケーション方法のポイントを説明できる。	
	○					食事のマナーとして、和食・西洋料理・中国料理・各国料理のマナーの特徴を説明できる。	
	○					冠婚葬祭のしきたりのポイントを説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	NPO法人日本マナー・プロトコール協会 マナー＆プロトコールの基本知識						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	マナーの歴史と意味 ー日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと
	2	プロトコール ープロトコールの基本原則と席次					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと
	3	プロトコール ーパーティの種類とマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと
	4	プロトコール ー国旗の基本原則・礼拝堂でのマナー、伝統文化					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと
	5	ビジネスマナー ー服装のマナー、印象					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと
	6	ビジネスマナー ー手紙のマナー、ビジネス文書、贈答のマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと
	7	食事のマナー ー和食、西洋料理、その他国料理のマナー					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと
	8	冠婚葬祭 ー日本の通過儀礼					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと。婚のしきたりを読んでおく。
	9	冠婚葬祭 ー祭のしきたり					教科書の該当範囲の復習と次回の該当範囲を事前に読んでおくこと。葬のしきたりを読んでおく。
	10	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。
	11	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。
	12	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。
	13	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。
	14	試験 ー試験実施、解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。
	15	検定対策 ー検定対策問題解答並びに解説					検定対策問題の復習と不正解の部分の教科書を読む。
評価方法	(1)授業の中で各章ごとに確認テストを実施する。(2)授業の中で定期試験にかわる試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	単元テスト	◎					40%
	定期試験	◎			○		50%
	宿題	◎					10%
履修上の注意	正試験期間中にマナープロトコール検定試験3級を受験します。						

科目名	フォト・音響照明							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	入江 修・牛島 英樹	
実施年度	2020		実施時期	前期		担当者実務経験	入江:プロカメラマンとして活躍 牛島:結婚式場映像業務担当	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年							
授業概要	ブライダルの商品である記念写真やビデオ映像などの効果的な撮影方法やその技術について学ぶ。また披露宴などでの会場の音響照明の効果とその実施ポイントを学ぶ。							
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					カメラによる撮影のテクニック習得のため使い方や効果の名称を熟知する。		
		○				カメラ撮影を行いよりよい写真映像にするための技術を身につける。		
		○				ブライダル音響・映像関係の基礎知識を習得する事が出来る。		
		○				BGM関連のお打ち合わせのスキルアップが出来る。		
				○		特殊な演出内容を説明することができる。		
テキスト・教材 参考図書	プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	カメラの各部位の名称、機能を知る						
	2	効果実演(画素、画質)						
	3	効果実演(フォーカス)						
	4	効果実演(ストロボと光量)						
	5	被写体、背景						
	6	撮影演習(各自撮影し比較検討)					校外演習	
	7	作品発表、解説						
	8	ブライダルにおけるPAについて 1						
	9	ブライダルにおけるPAについて 2						
	10	BGMによる空間コーディネートについて						
	11	照明および演出照明,プロジェクションマッピング、レーザー演出について						
	12	フラッシュモブ、メモリプレイその他の特殊演出について						
	13	ブライダルファッションショーについて 1						
	14	ブライダルファッションショーについて 2						
	15	全体的なまとめ						
評価方法	(1)フォト作品の発表 (2)音響映像に関するレポート作成 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	作品発表	○	○	◎			50%	
	レポート		○		○		50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	一般教養Ⅱ									
科目名(英)										
単位数	2単位			時間数	30時間		担当者	合力 朱実		
実施年度	2020			実施時期	前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年									
授業概要	ブライダル業界における就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力とSPI問題の解法を理解し、実際の採用試験に解答できる能力の修得を目指す。									
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					漢字検定2級程度の漢字までは読み書きが出来る				
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る				
		○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る				
		○				歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することが出来る				
		○				数学の文章問題、四則演算を限られた時間の中で解答することが出来る				
テキスト・教材 参考図書	就職試験これだけ覚える適正検査スピード解法 オリジナルテキスト									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	科目概要説明、第5回実力テスト								
	2	第1回：世界史、英語、SPI：玉手箱・分割払い					第1回：国語(1, 2) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	3	第1回：数学、第2回：社会、SPI：分割払い、料金の割引					第2回：国語(1, 2) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	4	第2回：英語、数学、SPI：割引料金と精算、仕事算					テキストの該当部分復習しておくこと			
	5	第3回：社会、SPI：割合、損益算					第3回：国語(1, 2) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	6	第3回：数学、英語、SPI：損益算、速度算					第4回：国語(1, 2) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	7	第4回：数学、社会、英語、SPI：速度算、集合					第5回：国語(1, 2) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	8	第5回：数学、英語、社会					第6回：国語(1) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	9	第6回：社会、英語、SPI：集合、推論					第7回：国語(1, 2, 3) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	10	第7回：社会、英語、数学、SPI：推論					第8回：国語(1, 2, 4) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	11	第8回：社会、英語、数学、SPI：推論、四則演算					第9回：国語(1, 2) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	12	第9回：英語、数学、社会、SPI：四則演算、割合					第10回：国語(1) テキストの該当部分復習をしておくこと			
	13	第10回：数学、社会、英語					テキストの該当部分復習しておくこと			
	14	第10回：英語、SPI：売買分割、推理、順列・組み合わせ					テキストの該当部分復習しておくこと			
	15	まとめ：前期試験範囲振り返りと対策					テキストの該当部分復習しておくこと			
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)小テスト 以上を授業中の態度も鑑み下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	◎	○		○		80%			
	小テスト	◎	○		○		10%			
	宿題・レポート	○	○		◎		10%			
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名	社会教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	東 まゆみ
実施年度	2020		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	就職活動に向けて、面接やエントリーシートの書き方の対策を行う。社会人としてブライダル業界で活躍できる人財になる為に必要な要素を知る。						
授業形式	講義： ○		演習：	実習：	実技： ○	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					就職内定	
	○					エントリーシートや履歴書が書き上げられるようになる。	
	○	○				面接にて実力が発揮できるようになる。	
	○					グループディスカッションの流れを知り、役割なども含め本番で実力を発揮できるようになる。	
	○	○				グループワークの流れを知り、役割なども含め本番で実力を発揮できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック ブライダルのお仕事（ウエディングジョブ発行）						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	2	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	3	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	4	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	5	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	6	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	7	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	8	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	9	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	10	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	11	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	12	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	13	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	14	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
	15	求人案内、受験状況報告書の作成・提出、就活指導					
評価方法	①履歴書提出 ②サブツール提出 ③ミニテスト提出 評価上記提出「R」とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	①～③提出	○	◎	○			100%
履修上の注意							

科目名	毛筆ペン字						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	入江 陽子
実施年度	2020年度		実施時期	前期		担当者実務経験	書道講師歴34年
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 2年						
授業概要	ブライダル業界人としての心を大切にしたい案内状やお礼状を書く力と知識を学ぶ。						
授業形式	講義：△		演習：	実習：	実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉遣いでお礼状を書くことができる。	
		○				封筒、手紙文の書式を学ぶことができる。	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる。	
			○			正しい姿勢で集中力を持って取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	筆ペン基本 ― 氏名練習、基本点画				筆ペンの練習をしておく	
	2	筆ペン基本 ― 基本点画、平仮名練習				平仮名の練習復習をしておく	
	3	実用書 ― のし書き、芳名帳				住所、氏名の復習をしておく	
	4	実用書 ― 封筒の表書き				封筒の復習をしておく	
	5	実用書 ― 案内状清書				案内状清書できるようにしておく	
	6	実用書 ― 手紙文書式、練習				手紙文の練習をしておく	
	7	実用書 ― お礼状、練習				お礼状清書できるようにしておく	
	8	実用書 ― お礼状、清書				提出物できるようにしておく	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中で清書した案内状、お礼状を試験のかわりとして評価する。 (2)出席を意欲点として評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作品提出物案内状	○	○	◎	○		50%
	作品提出物お礼状	○	○	◎	○		50%
履修上の注意							

科目名	Excel				
科目名(英)	Excel				
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	平井先生
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	PC企業研修 PC非常勤講師活動中
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科2年				
授業概要	企業で最も使われているソフトの1つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能の基本的な操作方法を習得する。問題集「2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集」を使ってより高度な機能の習得と検定対策の学習をする。また、検定対策の一環として客観的に自分の解答が正しいか判断できるようになるため自己採点を行う。				
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
		○			
		○			
		○			
	○				
	○		△		
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2016 2016対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	Excelの概要・データの種類と入力方法			
	3	簡単な表の作成・練習問題			テキスト記載の実習問題1～4の表作成を完成させる
	6	基本のグラフ作成・練習問題			テキスト記載の実習問題1～4のグラフ作成を完成させる
	8	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)			テキスト記載の実習問題7～10を完成させる
	9	10 セルの書式設定・絶対参照を使う計算・関数(とから選べる関数)			テキスト記載の実習問題11～15を完成させる
	11	12 いろいろな関数(COUNTA,ROUND類,RANK類,IF)			テキスト記載の実習問題16～18,37を完成させる
	13	14 スパークライン・グラフ機能			テキスト記載の実習問題20～26を完成させる
	15	16 データベース機能			テキスト記載の実習問題34,35を完成させる
	17	18 検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習			
	19	20 検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習			練習問題1を仕上げる。
	21	22 検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習			練習問題2を仕上げる。
	23	24 検定問題集_練習問題3_演習による解説後、各自で実習			練習問題3を仕上げる。
	25	26 検定問題集_模擬問題1_各目で実習し、不明点に個別対応。			模擬問題1を仕上げる。
	27	28 試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目			
	29	30 検定問題集_模擬問題2_各目で実習し、不明点に個別対応。			模擬問題2を仕上げる。
	31	32 検定問題集_模擬問題3_各目で実習し、不明点に個別対応。			模擬問題3を仕上げる。
	33	34 検定問題集_模擬問題4_各目で実習し、不明点に個別対応。			模擬問題4を仕上げる。
	35	36 検定問題集_模擬問題5_各目で実習し、不明点に個別対応。			模擬問題5を仕上げる。
	37	38 検定問題集_模擬問題6_各目で実習し、不明点に個別対応。			模擬問題6を仕上げる。
	39	40 検定問題集_模擬問題7_各目で実習し、不明点に個別対応。			模擬問題7を仕上げる。
	41	42 模擬試験2回目			
	43	44 模擬試験解説・質疑・別問題			
	45	期末試験実技			

評価方法	(1)授業の中で検定対策として模擬試験を2回実施する。(2)テキスト「30時間でマスターExcel2016」内の実習問題を70%以上仕上げる。(3)授業中に終了しなかった問題集の課題を全て仕上げる。((2)(3)については授業終了時にメモリ提出)(4)問題集の模擬問題1～7について採点表をもとに自己採点しプリントで提出する。(5)検定試験と同程度の実技期末試験を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○		50%
	模擬試験	○	◎	○		15%
	上記(2)課題提出		◎	○		10%
	上記(3)検定問題集	○	◎	○		20%
	上記(4)自己採点表提出	○	○		◎	5%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、評価Dとする。					

科目名	GCB II							
科目名(英)	Global Citizen Basic II							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	東 まゆみ	
実施年度	2020		実施時期	前期		担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務	
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 2年							
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。							
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	△			○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。		
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシックⅡ 志の教育(学生用テキスト)							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンと“志”					振り返りレポートの作成	
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～					振り返りレポートの作成	
	3	自己を知る					振り返りレポートの作成	
	4	伝える力を学ぶⅠ～プレゼンテーション～					振り返りレポートの作成	
	5	伝える力を学ぶⅡ～グループコミュニケーション～					振り返りレポートの作成	
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～					振り返りレポートの作成	
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～					振り返りレポートの作成	
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)					振り返りレポートの作成	
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート作成・発表				◎		100%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。							